

イーハトーブトライアル実行団支援活動及び大会コース確認の報告

この度の台風による岩泉地域の被災に伴い、実行団有志によりボランティア活動を 9/1 から展開しております。

岩泉町に居住する団員の自宅も被害を受け、更に毎年お世話になっている安家地区を始め、安家川流域が大きな被害を受けました。

そこで、安否確認、道路状況確認や物資搬送、炊き出し、泥かき片付けなど、私達のできる範囲の何かしら恩返しの支援を継続していきたいと思えます。

今回の活動は、初動的に有志が行ったものであり、今後の具体的な活動については未定です。追ってその都度、成田会長をはじめ大会事務局のテレビ岩手照井、家村団長を中心に発信していきたいと思えます。

本日までのボランティアの活動状況を報告いたします。

9/1 (木) : 実行団 1 名が車両にトライアル車を積載し袖山から安家方面へ現地調査に入る。



安家川合流地点より砂利の林道に入った後、1～2 kmで土砂崩れ、車両からトライアル車に乗り換えて進むが、数キロで道路の崩落で徒歩に切り替える。昨年まで使用していた通称「万太郎坂」の下りきった沢が大きく舗装路を寸断。その先の最初の民家で、孤立している住人の安否確認、数日分の食料と飲料水はあるとのこと。その後、さらに進み、数軒の住人の安否確認

をしているところに、ヘリで大平地区から入ってきた自衛隊 6 名と消防隊の孤立集落の安否確認の部隊と遭遇し、上流の孤立下方の情報を教えてから、大坂本のセクション側まで道路の状況確認後戻る。



9/2（金）：週末に被災地の安家元村へ支援に入れる実行団員を募り、他の実行団員と支援物資をかき集め、準備をする。

支援物資：飲料水18Lポリタンク約10個、10Lポリタンク32個、500ml飲料水4ケース、



経口保水液OS1 7ケース、カップめん6ケース、タオル約50枚、軍手100双、重機用軽油約60L、お菓子6箱、女性用必需品2箱、缶詰他食料品4箱、現地実行団用トライアル車1台、携帯用電池式充電2台、乾電池80本、ゴミ袋紙コップ割り箸ウェットティッシュ他必需品2箱、発電機、



9/3（土）：成田会長、実行団員5人、事務局照井合計7

名で現地入り。（盛岡7時出発約4時間強）2名は被災した実行団員の自宅へ行き、物資を届けるとともに浸水した住宅の泥かきを手伝い、その後、安家地区の部隊へ合流。



5名は安家地区へ直接入る。最初に毎年給油でお世話になっている「かむら旅館」へ行き、必要な物資を届ける。かむら旅館の女将に現地の状況を確認したところ、食料、飲料水は避難所に十分あるが、安家地区の住民で行き



渡っていない人が多くいるとのことで、女将さんに案内して頂き、もって行った物資と避難所の食料、飲料水を引き取り、約20数軒の住民へ物資を配る。その後、毎年参加選手や実行団に「龍泉洞の水」を自前で配っていただいている方の住宅の泥を清掃。17：00作業終了。



9/4（日）：成田会長、実行団2名で今年のクラシックコースを利用して袖山から鈴峠を經由し大坂本までの通行可否を確認する。山の尾根付近はほぼ通ることはできたが、鈴峠に入り、土砂崩れや道路の崩落が激しい。何とか大坂本まで降りて、大平地区まで到達。



帰りは、大坂本から袖山方面の林道が現地の土木復旧作業で崩落した道路に丸太を掛け、普通車両が通れるようになり、成田会長以下は復旧した道路で戻る。



また、別班の実行団4名が今年も安全祈願祭を取り仕切っていただいた、神主さんより炊き出しのおにぎり60個他支援物資を持って安家元村へ。支援物資の配布とかむら旅館の片付けを手伝う。

9/5(月):岩泉の現地実行団が土曜日に搬送したトライアル車両に乗って孤立集落の安否確認にむかう。



9/5日現在、安家川上流部、袖山から大坂本經由大平地区までの通行を確認。
中流部、安家元村から氷渡洞まで確認、
下流域は未確認。今後情報が入り次第後連絡いたします。

以上